

## 移住に関するグローバル・コンパクト 企業の役割を強調

2018/12/20

国連人権高等弁務官事務所

「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト(GCM)」が12月10・11日の会議で採択された。GCMは国際移住を完全に包括的に保護するために、国連の主導で準備された初の政府間合意である。地元・全国・地域・世界レベルでのより良い移住管理のための23の目標について規定している。この採択を受け、ビジネスと人権に関する作業部会議長、現代的形態の奴隷制と移住者の人権に関する2名の特別報告者が共同声明を発表した。彼らは、GCMでは移住者を人権侵害から守りつつ、彼らの経済的貢献を促進するために、共同の価値と責任に基づいて官民が真に連携することが強調されていると歓迎した。そして、移住労働者が世界中で不正な採用、不当な労働条件、社会保護の欠如にさらされていることを指摘し、各国政府に対してGCMの実施に直ちに着手するよう求め、政府と民間雇用者がとるべき措置を例示した。